

令和7年度バーチャル埼玉魅力発信等に関する業務  
企画提案募集要領の内容に関する質問回答

No	仕様書該当項目	質問内容	回答
1	【1, 2ページ】 5-(1)-①・②	イベント実施にあたり「バーチャル埼玉」内に何か特別なモニュメント(例えば川を作りたいなども)あった場合、バーチャル空間への実装は既存業者様にてご対応いただける理解でよかったですでしょうか。また企画の制限や制約などあればうかがいたいです。	バーチャル空間(プラットフォーム)を管理する事業者が実装作業を行います。 企画自体に制限や制約はありませんが、技術的な理由や計上いただいた予算から提案どおりの実装が困難な場合があるため、県及び管理事業者と協議の上、進める形となります。
2	【1, 2ページ】 5-(1)-②	リアルイベントで実施したことをバーチャル空間に反映したいですが、どのようなことまで実現可能でしょうか。「リアルイベントで実施したものから、ポイントがたまるなどでバーチャル空間がにぎわう」といったことは実現可能でしょうか。リアルイベントとつなげるバーチャル空間側の既存の仕掛などあるとお伺いしたいです。	特定のユーザーにポイントを付与して、そのユーザーにだけポイントに応じたギミック等を空間に反映させることは難しいです。 一方で、リアルイベントの実績に応じて、空間が賑やかになることは見せ方を工夫すれば、できる可能性があります。(たとえば、植樹のイベントで参加者の苗木の手植え数に応じて後日空間に木を生やす、リアルイベントで集めた写真を空間に映すなど。)
3	【1ページ】 5-(1)-①	バーチャル空間のキャラクター増加などは可能でしょうか。その場合デザインなど準備すればバーチャル空間への実装もご対応いただけるのでしょうか。	技術的には可能です。しかしながら、既にバーチャル埼玉にはオリジナルアバター「ばーたま」がいますので、新しいアバターの実装は費用面を含めて要相談となります。
4	【2ページ】 5-(2)-①	LPの公開先ドメインやサーバー要件は指定されていますか？	ドメインにつきましては、現在のドメインを使用します。サーバーの要件などは特に指定していません。
5	【3ページ】 5-(2)-②	運用投稿の承認フローや投稿頻度の方針があれば教えてください。	承認フローにつきましては、投稿文案を当課で確認の上、投稿いただけます。当課での確認期間は2営業日とします。 投稿頻度につきましては、仕様書記載のとおり週2回以上としています。参考として、現在は平均して「ばーたま@バーチャル埼玉(instagram)」で週3回(月・水・金)や「SAITAMA Next 150(X)」で週2回(火・木)、投稿しています。
6	【1, 2ページ】 5-(1)-②	イベント実施場所に県からの施設提供などの支援はありますか？ 例えば県庁オープンデーに合わせて実施などの相談は可能でしょうか。	施設提供の支援につきましては、(県庁オープンデーでの実施含めて)相談可能です。
7	【1, 2, 3ページ】 5-(1)-①・② 5-(2)-①・②	イベントやLPの来場者数やアクセス数などの目標値はございますか？	具体的な目標値は設定しておりません。
8	【1, 2, 3ページ】 5-(1)-①・② 5-(3)	バーチャルイベントの効果測定のための仕様などは公開いただける想定でよいでしょうか。	効果測定に必要なバーチャル埼玉の情報(仕様や実績値(ユーザー数など))は提供します。
9	【3ページ】 5-(2)-②	SNSのキャンペーン実施、現状分析はインスタのみでしょうか。SAITAMA Next 150(X)こちらも運用対象ということでしょうか。その場合それぞれに適した運用を実施したいというご意向でよかったですでしょうか。	キャンペーンにつきましては、媒体の指定はございません。バーチャル埼玉を活用したキャンペーン(昨年度であれば、クイズキャンペーンなど)を実施した際、「ばーたま@バーチャル埼玉(instagram)」や「SAITAMA Next 150(X)」で広報を行うというものも含むこととします。(昨年度実施したキャンペーンにつきましては、バーチャル埼玉ランディングページの新着情報を確認ください。) 現状分析は「ばーたま@バーチャル埼玉(instagram)」及び「SAITAMA Next 150(X)」が該当します。 なお、「SAITAMA Next 150(X)」も運用対象ですが、当該アカウントについては、バーチャル埼玉専用ではなく、別の発信内容を当課の職員が投稿することもあるため、仕様書上は「県が管理する、「SAITAMA Next 150(X)」でも投稿を行うこと。」としています。